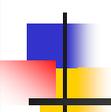


「環境に関する事業者アンケート調査」について

「環境基本計画」、「地方公共団体地球温暖化対策実行計画」、「新エネルギービジョン」及び「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の策定にあたり、事業者の意見を反映させるため、いわき市内の事業者500社を対象にアンケート調査を実施した。
調査項目は、温対法の改正等に伴い新たな枠組みづくりが求められている「地球温暖化対策」、新たな方向性を検討すべき「新エネルギー」、及び発生抑制が求められている「ごみ処理」について、それぞれの取組み状況及び考え方・意識に関して聴いた。

	取組み状況	考え方・意識
地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> ●環境対策の体制【問1】 ●事業所における取組み状況【問2】 ●エネルギー消費量【問9】 <p>・ISO14001等環境マネジメントシステムの導入は1割弱 ・「使用していない部屋の消灯」の実施率は9割以上 ・「空調機器のフィルターの掃除」の実施率は7割以上 ・比較的規模の大きい省エネ対策は低調</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化対策を進める上での課題【問3】 ●地球温暖化問題について(自由意見)【問4】 <p>・4割強が「現状や対策に関する情報が不十分」と考えている ・6割弱が「対策に係る財源が不十分」と考えている</p>
新エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●環境対策の体制【問1】 ●事業所における取組み状況【問2】 ●新エネルギー導入状況【問5】【問6】 ●エネルギー消費量【問9】 <p>・太陽光発電システムや太陽熱利用等の導入率は1% ・クリーンエネルギー自動車の導入率は5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新エネルギーの推進に向け望ましい施策【問7】 ●新エネルギーの推進に対する姿勢【問8】 <p>・5割が「補助制度の充実が望ましい」と考えている ・6割強が「いわき市は多額の費用をかけてまで新エネルギーを推進すべきものではない」と考えている</p>
ごみ処理	<ul style="list-style-type: none"> ●環境対策の体制【問1】 ●事業所における取組み状況【問2】 ●事業系一般廃棄物の処理方法【問10】 ●事業系一般廃棄物に関する今後の取組み【問11】 <p>・6割強が「燃えるごみに廃プラスチック(産業廃棄物)が混入しないよう徹底する」と考えている ・5割強が「燃えるごみに再生可能な紙類が混入しないよう徹底する」と考えている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業系一般廃棄物に関する今後の取組み【問11】 ●「発生抑制」、「焼却・埋立」に対する考え【問12】【問13】 ●事業系一般廃棄物の処理について(自由意見)【問14】 <p>・9割強が「生産者・消費者・行政3者が協力して、ごみを発生させない工夫をすべき」と考えている ・9割弱が「排出時の手間やコストが今よりかかっても、できるだけ焼却や埋立に頼らないごみ処理を目指すべき」と考えている</p>



環境に関する事業者アンケート 調査結果

いわき市環境企画課

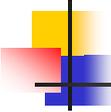
報告書1ページ



調査の概要

- **調査時期** 平成21年8月
- **調査対象** 市内の事業者500社
- **回収率** 39.0%(195社)
- **調査項目**
 - 地球温暖化対策【問1～4】
 - 新エネルギー【問5～9】
 - ごみ処理【問10～14】
 - 属性【問15～17】

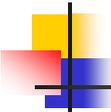
報告書2ページ上段



問1 環境対策の体制

- 「環境問題に関する研修の実施」
17%が既に実施。「将来的には実施したい」までを含めると半数を超える
- 「環境対策専門部署の設置」
10%が既に設置。平成10年アンケート調査では、30%が既に設置。専門部署設置事業者の減少？
- 「ISO14001等環境マネジメントシステムの導入」
9%が既に導入。47%は「実施する計画はない」

報告書3ページ～4ページ



問2 事業所における取組み状況(1)

- 空調
「エアコンのフィルターをこまめに掃除する」以外は、市民アンケート結果と比べ、低い実施率
- 照明
「白熱電球→電球形蛍光ランプ」44%
- OA機器など
「離席時のパソコンOFF」41%
- 給水・給湯
水や給湯の省エネ対策は、いずれの項目も30%以下
新たな設備導入等を伴うものは、低い実施率

報告書5ページ～6ページ

問2 事業所における取組み状況(2)

■物品調達

他の項目に比べ、高い実施率

「再生紙利用」69%、「両面印刷の徹底」65%

■建物設備・管理

「敷地内緑化」30%

■自動車

「エコドライブ」等は、市民アンケート結果と比べ、低い実施率
平成10年アンケート結果と比べ、「クリーンエネルギーの導入」は上昇

■全体

新たな設備投資を伴う省エネ対策は、軒並み低い実施率

報告書7ページ上段・中段、16ページ

問3 地球温暖化対策を進める上での課題 問4 地球温暖化問題について(自由意見)

■課題

- ①「財源不足」(58%)
- ②「情報不足」(45%)
- ③「組織体制が不十分」(34%)

■自由意見

自由意見においても、問3(課題)同様、「地球温暖化対策の推進は経済的に厳しい」、「情報が乏しい」という意見が多い。

対策を講じたくてもできないという意見や、経費削減対策として実施している例が見受けられる。

報告書7ページ下段、8ページ上段

問5、6 新エネルギー導入状況

- 「導入済」+「導入予定」
「クリーンエネルギー自動車」を除いて、
いずれの項目も2%以下

- 「場合によっては導入する」

太陽光発電	19%
太陽熱利用	18%
クリーンエネルギー自動車	34%

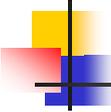
導入可能性
(伸びしろ)
↓
施策検討の対象

報告書8ページ中段、9ページ上段

問7 新エネルギーの推進に向け望ましい施策 問8 新エネルギーの推進に対する姿勢

- 望ましい施策
「補助制度の充実」が最多(50%)
- 姿勢
 - ①「いわき市も推進すべきだが、多額の費用をかけてまで推進すべきものではない」 33%
 - ②「国主導で行うべきであり、いわき市が多額の費用をかけてまで推進すべきものではない」 29%
 - ③「費用がかかっても推進すべき」 25%

報告書10ページ～12ページ上段



問10 事業系一般廃棄物の処理方法

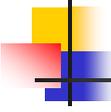
事業系一般廃棄物について、「燃えるごみ」、「燃えないごみ」、「かん類・ペットボトル」、「びん類」、「リサイクルするプラスチック」の種別ごとに処理方法を聞いた。

■処理方法

ごみの種別によって、処理方法に大きな差は見られない

- 事業者専用袋を使用して集積所に排出
すべての種別で36%程度

報告書12ページ下段



問11 事業系一般廃棄物に関する今後の取組み

■今後の取組み 上位

- | | |
|-----------------|-----|
| ①燃えるごみへの廃プラ混入防止 | 61% |
| ②燃えるごみへの紙類混入防止 | 51% |
| ③これまでの取組みで十分 | 26% |

報告書13ページ

問12 「発生抑制」に対する考え
問13 「焼却・埋立」に対する考え

■「発生抑制」に対する考え

91%がごみの「発生抑制」に賛同

■「焼却・埋立」に対する考え

87%が「排出時の手間やコストがかかっても、焼却や埋立に頼らないごみ処理を目指すべき」という考え方に賛同



いずれも市民アンケート結果と同様の傾向

報告書14ページ上段、17ページ

問14 事業系一般廃棄物の処理について(自由意見)

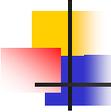
■「資源ごみ(紙類中心)分別により、可燃物の量が減った。手間は増えるが、ごみ排出量が減り、従業員の意識が高まった。」

■「事業者専用袋が高い。高いならもっと丈夫な袋にしてほしい。」

■「個人情報関係のごみ処理に困っている。手軽な処理方法を考えて欲しい。」

など

報告書14ページ中段～15ページ



問15～17 属性

- 業種
- 従業員数
- 年間売上高